

愛友会ニュース

「被団協」新聞
(愛知県版)
No.485
2022.8.6

編集・発行 愛知県原水爆被災者の会(愛友会)
〒462-0841 名古屋市北区黒川本通2-11-1コーポタニグチ201
電話052-325-7901
相談日 : 月・水・金 午後 1時~4時

広島・長崎の被爆から77年目の慰霊

原爆犠牲者を偲ぶつどいにご参加下さい

愛知県原水爆被災者の会(愛友会)では、原爆の犠牲となられた方々を偲び、ご霊前におきまして「ふたたび被爆者をつくらないこと」を誓い合うために、毎年、原爆犠牲者の霊を追悼する行事を行ってまいりました。今年、被爆77周年を迎え、被爆者の平均年齢は、84歳を超えました。2021年度には愛知県におきまして108名の被爆者がお亡くなりになりました。一年一年が、大切な時間となってきております。その中で迎える77回目の慰霊の集まりを、多くの県民の皆様とともにに行いたいと思います。

日時：2022年9月17日(土)

会場：名古屋市公会堂4Fホール

○原爆犠牲者を偲ぶ式典

- ・参列者全員の献花
- ・愛知県、名古屋市等自治体の代表より追悼のことば
- ・支援団体より追悼のことば
- ・青年から平和の誓い
- ・遺族からのお礼のことば

○文化行事

- ・親と子のみどりの杜合唱団と愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団の舞台

※無料でご鑑賞いただけます。

◆被爆者手帳提示で駐車場は無料です。

◆原爆犠牲者の遺影をお持ちください、壇上にて展示いたします。次年度の偲ぶつどいで、プロジェクターで投影いたします。

被爆者のみなさん、ご遺族のみなさん、支援者のみなさんをはじめ平和を愛する県民のみなさんぜひ、ご参列ください。

8月

被爆体験を継承する取り組み

あいち平和のための
戦争展

8月11日(木)~14日(日)
10:00~17:00

市民ギャラリー矢田

金山駅原爆パネル展

8月20日(土)10:00~20:00
21日(日) 9:00~20:00

金山駅コンコース

20年にわたる原爆症認定訴訟の成果と支援の継続を確認

あいち被爆者支援ネットが定期総会を開催

6月23日、あいち被爆者支援ネットワークは名古屋市伏見の保険医協会会議室で総会を開催し、25人が参加しました。愛友会からは金本弘理事長をはじめ被爆者、被爆二世も参加し、支援者のみなさんと一緒に交流、懇談を行いました。被爆者支援ネットは、原爆症認定訴訟を支援しようと2004年に結成されました。訴訟支援にとどまらず、被爆者運動そのものへの支援も合わせて行う事を決めて取り組んできました。総会では、最初に記念講演が行われて、直野章子・京都大学准教授が「ウクライナ戦争勃発後に平和と被爆体験の継承を考える」と題して講演しました。その後、樽井直樹弁護士が、20年にわたる原爆症認定訴訟の経過について報告しました。樽井弁護士は、「裁判を通じて放射線被害の深刻さ、非人道性を明らかにした」として、原爆認定訴訟の果たした意義を強調しま



した。しかし、被爆者行政には、多くの問題を残しており、さらに支援を続ける事が必要だと語りました。総会の最後に金本理事長が支援へのお礼の挨拶をしました。

「黒い雨」の要件で愛知でも被爆者手帳申請、10件

「黒い雨」に被爆した方たちの内部被爆を認め、2021年7月、広島高裁は、被爆者健康手帳交付などを命じた歴史的な判決を下しました。1年がたち、現状はどうなっているのでしょうか。広島の「黒い雨」にうたれて被爆し、その後、愛知県内に引っ越しをされてきた方もいるはずです。7月19日、愛友会事務局から愛知県の被爆担当課に電話をして、現在の状況を聞きました。愛知県庁の原爆・アレルギー対策課によると、◆「黒い雨」による被爆手帳の申請件数は、現在10件あるということでした。また、その10件に対して、まだ手帳は交付されておらず審査中だという事でした。「審査中」という問題点はどこにあるのでしょうか。そもそも、被爆者健康手帳の交付の要件は、広島市、長崎市とその周辺(地名が明記されている)で被曝している事、爆心地から2キロメートル以内に入市して被爆した事、

その胎児で体内被曝した事などです。それが証明されれば被爆手帳は交付されます。

「黒い雨」による被爆が裁判で確定したのですから、「黒い雨」にうたれた事で申請すれば、同じように被爆手帳が交付されなくてはなりません。ところが、政府は「黒い雨」の被爆に限っては、11種類の障害(肝機能障害や循環器機能障害など)の疾病にかかって治療しているという診断書が必要だと、新たな要件を付け加えました。

加えて、長崎でも同じように、手帳の申請区域の外でも「黒い雨」にうたれた方がたくさんいますが、政府は、長崎は対象外としています。

裁判結果を受け入れると言いながら、新たな要件を付け加えて手帳の交付を妨げている政府の対応は大問題です。

「被団協」新聞連載500回

おり鶴さん 西山すすむ

今夏刊行!

予価 1500円+税

時代背景解説や、コラムを交え、およそ40年500回の連載からのベストセレクション

著者プロフィール

1928年生まれ。17歳の時、勤務していた三菱長崎造船所で被爆。子どものころから絵が得意で、1960年代から漫画家として本格的に活動。

ご注文は愛友会へ

TEL 052-325-7901

FAX 052-325-7902

8月のおもな予定

- 4日～9日 原水爆禁止世界大会
- 2日～7日 原爆絵画展(名古屋支部主催)
- 11日～14日 あいち平和のための戦争展
- 20日・21日 金山駅原爆絵画展

募金にご協力をいただき、ありがとうございました。

(7/1～7/31敬称略)

- ▼山川福美(港区) ▼大村義則(碧南市)
 - ▼水野秋恵(春日井市) ▼丹波真理(あま市)
 - ▼齋藤啓美(長久手市) ▼小南五郎(豊橋市)
 - ▼中江敏子(清須市)
- 合計 26,650円

